6 キャリアアップ研修Ⅱ

- 採用から9年目以上の教員を対象とした、悉皆の研修です。(ただし、9年目の実施を選択できる者は、免許 状更新講習対象年齢の者に限る。) これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専 門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。
- 校外研修8日間、校内研修20日間の研修内容を、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」をご確認ください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホー ムページからダウンロードできます。(トップページ>研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修Ⅱ)
- 幼稚園等、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の研修の詳細については、以下の担当課にお問い合わせください。

 - ・幼稚園→学びの改革支援課へ ・幼保連携型認定こども園→こども・家庭課へ
 - 特別支援学校→特別支援教育課へ
- 養護教諭、栄養教諭→保健厚生課へ

1 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校

研修	(講座)名	実施日	日数	場所	欠席の対応
	A(北信)	5月19日 (木)			
全体研修	B(南信)	5月20日(金)	1 目		\V.
	C (中東信)	5月23日(月)		※ 今 料 本 わ 、 カ	※1
- 生生	小学校 (南北信)	6月27日(月)		総合教育センター	総合教育センター 教職教育部にご連絡くださ
生徒指導力 充実研修	小学校(中東信)	6月28日 (火)	1 目		い。
几天明19	中学校	7月 1日 (金)			(代替講座受講) 様式第 60 号
現代的な諸課題へ	年間 ・ 本部		1日	総合教育センター	
近100%的球型、	いっぱい	(6月~2月)		等	
 教師力向上研修V	年間		1日	対象者が各会場を	フトットの子/財操用なりま
我師の正可工ので		(6月~2月)	1 14	選定	それぞれの主催機関等に 連絡して指示を受けてくだ!
異業種体験研修		長期休業中	2 日	地域の企業等	さい。
選択研修皿		年間		各研究会会場等	
		(6月~2月)	2 日	総合教育センター 体育センター	※1に同じ

- □「全体研修」「生徒指導力充実研修」は、期日が指定されるので申込みは必要ありません。
- □「現代的な諸課題への対応」は、p. 31 の一覧表から自己課題に応じて1日を選択し総合教育センターへ電子申請 で申し込んでください。
- □「教師力向上研修Ⅴ」は、自己課題に基づき取り組んだ内容をまとめ、校外の研究会等で発表し、参加者からフ ィードバックを得る研修です。詳細は、5月19~23日の「**全体研修**」でお知らせします。
- □「異業種体験研修」は、原則として勤務校近隣の企業等を各自で選定し、長期休業中に実施します。
- □「選択研修Ⅲ」は、総合教育センターと体育センターのキャリアアップ研修Ⅲ対象の研修講座や、各地区で行わ れる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を検討して計画・実施します。 総合教育センターと体育センターの研修講座を受講する場合は、総合教育センターへ電子申請で申し込んでくだ さい。

2 特別支援学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席対応
特別支援教育	特別支援教育教職研修A		1 日	総合教育センター	特別支援教育課に連絡し、指示
特別支援教育	教職研修B	8月10日 (水)	1 日	オンライン形式	を受けてください。 (代替講座受講)様式第60号
特別支援教育	教職研修C	2月 3日 (金)	1 日	総合教育センター	または61号
4-7-16-7 - 1	小学校 (南北信)	6月27日 (月)		総合教育センターにて。特別支援 教育課が指定したいずれか1講座	総合教育センター教職教育部に
生徒指導力 充実研修	小学校 (中東信)	6月28日 (火)	いずれか 1 日	を受講する。(幼稚部・小学部所属 の者は小学校で、中学部・高等部	ご連絡ください。
	中学校	7月 1日 (金)	_ ,.	所属の者は中学校で受講すること を原則とする。	(代替講座受講)様式第60号
異業種体験研修		長期休業中	2 日	地域の一般企業等	それぞれの主催機関等に連絡し
選択研修皿		, 年間		各研究会会場 等	て指示を受けてください。
		(6月~2月)	2 日	総合教育センター 体育センター	※1に同じ

「特別支援教育教職	龂傪Α~C」	「生徒指導力充実研修	は、	期日が指定	されるので、	申込み	は必要ありる	ません。
「異業種体験研修」	は、原則と	して勤務校近隣の企業	等を各	·自で選定し、	長期休業中	に実施し	<i>、</i> ます。	
「選択研修Ⅲ」は、	総合教育セン	ンターと体育センター	のキャ	リアアップ	肝修Ⅱ対象の	研修や、	各地区で行	i われる

□「**選択研修Ⅲ**」は、総合教育センターと体育センターのキャリアアップ研修Ⅱ対象の研修や、各地区で行われる 教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を検討して計画・実施します。総合 教育センターと体育センターの研修講座を受講する場合は、<u>総合教育センターへ電子申請で申し込んでください</u>。

3 高等学校

研修(講座)	名		実施日	日数	場所	欠席対応
	Α	5月	19日 (木)	A~C		
教職研修 I	В	5月:	20 日(金)	より指定 された		
	O	5月	23 日 (月)	1日		総合教育センター
生徒指導力充実研修	高校	7月7日 (木)		1 目	総合教育センター	教職教育部にご連絡くださ
教職研修Ⅱ		8月29日 (月)		1 目		\\`\\
教職研修Ⅲ		令和5年 1月17日 (火)		1日		(代替講座受講)様式第60号
					総合教育センター 体育センター	
選択必修研修	選択必修研修		年間(6月~2月)		県教育委員会が指定する授業公開等(手引参照)	それぞれの主催機関等に 連絡して指示を受けてくだ さい。
義務教育 ジョブシャドウイン	グ	年間	0~1日	合計 2日	地域の市町村立 小学校・中学校	
社会体験研修			1~2日	2 H	対象者が施設等を選定	

- □「**教職研修 I ~Ⅲ**」「**生徒指導力充実研修**」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。
- □「**選択必修研修**」は、2日のうち1日以上は原則として自己の教科に係る研修講座を選択し、申し込みます。総合教育センターと体育センターのキャリアアップ研修 II 対象の研修講座を受講する場合は、<u>総合教育センターへ</u>電子申請で申し込んでください。
- □「義務教育ジョブシャドウイング」「社会体験研修」は、原則として勤務校近隣の企業等を各自で選定します。
- 4 「現代的な諸課題への対応」、「選択研修Ⅲ」及び「選択必修研修」の申込みについて
- □「現代的な諸課題への対応」、「選択研修Ⅲ」(小学校・中学校・義務教育学校)、及び「選択必修研修」(高等学校) として、総合教育センター及び体育センターの研修講座を選択して受講する場合は、学校でとりまとめて、<u>総合</u> 教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切 4月22日(金))。
- □1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整させていただく場合があります。

5 猶予について

学校長は、対象者が健康上の止むを得ない事由等で**研修講座の全てに出席することができない場合**、当該対象者の「**指定研修猶予願**(様式第 40 号)」を総合教育センター所長あてに提出してください。但し、前年度対象予定者調査で「猶予予定」と回答いただいた場合は、「猶予願」の提出は必要ありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ提出してください。

(調査時と変更になった場合) 提出期限:令和4年4月15日(金)

	カ稚園等・小学校・「	h学校,铁则支护	平学校 七	ĿIJママぃ゚゚゚゚゚゚゚゚ヹヹ	タロ 井ぶ	高心核理核		
2	キャリアステージ		友子校 イ 形成期		多山 大川 長期	五少修切修 充実其		次世代育成期・管理職期
	7 7 7 7 7 7 7	番号・講座名		宝	施日		内容、連絡	<u> </u>
	1-3-12-01 全体研修A(北信)				日(木)	講師 協議 「総合的な学	行為防止とリスクマ 京都教育大学 教授 習の時間・総合的な 校・地域・家庭の通 文化	マネジメント」 を 榊原 禎宏 体探究の時間について」 直携なのか」 と財・生涯学習課指導主事
キャリ	地域社会と 連携・協働 目標実現に向け 柔軟に対応する 1 2 3 5			さや技能 課題への対応 (14)		演習 「これまでの ■センターHPから ■持ち物と事前課題	10年間、これからの 「手引」をダウンロ)10年間」 エードし、持参してください。 ン、年間計画と共に持参。
アアップ研修	全	1−3−12−02 体研修B(南信	")	5月20	日(金)	協議 「総合的な学	校・地域・家庭の連 文化	★探究の時間について」 直携なのか」 公式を表示している。 と財・生涯学習課指導主事
11(小・中	地域社会と 連携・協働 目標実現に向け 柔軟に対応する ① ② ③ ⑤	力学習指導		はや技能 は課題への対応 (14)		演習 「これまでの ■センターHPから ■持ち物と事前課題 講義・演習 「非遺	10年間、これからの 「手引」をダウンロ を「手引」で確認し 行為防止とリスクマ	010年間」 ロードし、持参してください。 レ、年間計画と共に持参。 マネジメント」
)	1-3-12-03 全体研修C(中東信)		5月23	日(月)	協議 「総合的な学	校・地域・家庭の連 文化	探究の時間について」連携なのか」上財・生涯学習課指導主事	
	地域社会と 連携・協働 目標実現に向け 柔軟に対応する ① ② ③ ⑤	:		さや技能 (課題 への対応 (14)		■センターHPから■持ち物と事前課題	を「手引」で確認し	ロードし、持参してください。 レ、年間計画と共に持参。
キャリ	生徒指導力充	1-3-01-01 実研修 小学	校(南北信		日(月)	ことの意義や必要性 ちの自己有用感を育 る学校における教職 事例等を踏まえて学	について理解を深めむ必要性や落ち着い 員の具体的な行動に びます。	コで、生徒指導を充実させる うます。一人一人の子どもた いた学習環境を維持できてい こついて、全国各地域の実践 対応する学校 ~改訂される
アアップ	地域社会と 連携・協働 柔軟に対応する (4) (5)	力学習指導		や技能課題への対応		『生徒指導提要』が 講師 日本大 ■持ち物 なし	目指す視点から〜」 学 教授 藤平 郭	
研修Ⅱ(小)	1-3-01-02 生徒指導力充実研修 小学校(中東信)			日(火)	ことの意義や必要性 ちの自己有用感を育 る学校における教職 事例等を踏まえて学	について理解を深めむ必要性や落ち着い 最の具体的な行動に でます。	、工作指導を光次させもたります。一人一人の子どもたいた学習環境を維持できていた。 こついて、全国各地域の実践 け応する学校 ~改訂される	
	地域社会と 連携・協働 目標実現に向け 柔軟に対応する	力 学習指導	ての高度な知識 生徒指導 現代的な記 10 11			講師 日本大 ■持ち物 なし	目指す視点から~」 学 教授 藤平 勢	
キャリアアップ研修用		1-3-02-01 力充実研修			日(金)	ことの意義や必要性ちの自己有用感を育る学校における教職事例等を踏まえて学講義・演習 「多様	について理解を深め む必要性や落ち着い 員の具体的な行動に びます。	で、生徒指導を充実させる うます。一人一人の子どもた いた学習環境を維持できてい こついて、全国各地域の実践 け応する学校 ~改訂される
耳 中)	地域社会と 連携・協働 目標実現に向い 柔軟に対応する 4 5	力学習指導		は課題への対応			学 教授 藤平 郭	ά

キャ	キャリアアップ研修 II 小学校・中学校・義務教育学校 現代的な諸課題への対応								
教科·領域	講座番号		講座名	実施日	掲載ページ				
探究の 学び	3-1-14-21	学校図書館の活性化を図る	~図書館を利活用した探究的な学びの創造~	6月17日(金)	54				
	3-1-15-21	総合的な学習の時間 基本	~探究的な学習につながる授業づくり~	9月16日(金)	54				
	3-1-15-23	総合的な学習・探究の時間 基本 II	~新聞を活用して探究を深める~	11月24日(木)	54				
人権	3-2-01-21	人権教育 基本 I	~共に創る人権教育~	10月 3日(月)	37				
教育	3-2-01-22	人権教育 基本Ⅱ	~地域の素材を生かした学びを考える~	9月 2日(金)	37				
健康教育	3-2-05-41	性に関する指導研修会		8月 5日(金)	37				
キャリア 教育	3-2-06-21	キャリア教育 基本		7月14日(木)	38				
_+ **	3-2-08-41	学校組織マネジメント 応用 I	~ミドルリーダーのための学校組織マネジメント~	7月11日(月)	38				
マネジメント	3-2-08-42	学校組織マネジメント 応用Ⅱ	~教育法規と学校運営~	12月 9日(金)	38				
	3-2-09-41	カリキュラム・マネジメント 応用		6月 9日(木)	38				
	3-3-01-21	情報モラル 基本 I	~授業で取り組む著作権教育~	6月30日(木)	63				
ICT	3-3-01-22	情報モラル 基本Ⅱ	~個人情報を守る情報セキュリティ~	12月 9日(金)	63				
活用	3-3-02-22	ICT活用 基本 II	~iPadで作成する授業動画~	10月 7日(金)	63				
	3-3-02-41	ICT活用 応用	~今、推進する校内のICT活用~	10月 6日(木)	63				
1	3-6-03-21	クラスの中の気になる子の支援 基本 I	~小学校 通常の学級~	8月25日(木)	59				
ンク	3-6-03-22	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅱ	~中学校 通常の学級~	10月 7日(金)	59				
ルル	3-6-03-42	特性の理解と支援 応用Ⅱ	~読み書きのプロセスの理解と支援~	7月11日(月)	60				
な l 教シ	3-6-04-41	特別支援教育の授業づくり 応用 I	~特別支援教育のキャリア教育と進路指導~	7月 4日(月)	60				
育ブ	3-6-04-43	特別支援教育の授業づくり 応用Ⅲ	~授業のユニバーサルデザイン化~	8月 8日(月)	61				

高等学校 キャリアア	ツプ研修Ⅱ 共通必修研修			
キャリアステージ	基礎形成期	伸長期	充実期	次世代育成期・管理職期
講座	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	実施日		、連絡等
地域社会と 目標実現に向け. 連携・協働 柔軟に対応するス	学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応	5月19日(木)	や本県の教育課題を理解し、自己 講義・演習 「非違行為防止とり 講師 京都教育大学 教授 講義・演習 「高校におけるイン 講義・演習 「これまでの10年間 ■「手引」及び「『教職研修 I 高	Jスクマネジメント」 受 榊原 禎宏 ノクルーシブな教育」 特別支援教育課主任指導主事 引、これからの10年間」教職教育部 「誘校』事前課題」をセンターHPか
3 4 5			らダウンロードし、必要事項を 講義、グループ討議を通じてき	z記入して持参してくたさい。 Fャリアアップ研修Ⅱの意義と内容
教	1-3-03-02 対職研修 I B	5月20日(金)	や本県の教育課題を理解し、自己 講義・演習 「非違行為防止とり 講師 京都教育大学 教授 講義・演習 「高校におけるイン	この研修課題を考えます。 リスクマネジメント」 受 榊原 禎宏 ノクルーシブな教育」 特別支援教育課主任指導主事
地域社会と			■「手引」及び「『教職研修 I 高 らダウンロードし、必要事項を	引、これからの10年間」教職教育部 高校』事前課題」をセンターHPか と記入して持参してください。 デャリアアップ研修Ⅱの意義と内容
	1-3-03-03 対職研修IC	5月23日(月)	や本県の教育課題を理解し、自己 講義・演習 「非違行為防止とり 講師 京都教育大学 教授	己の研修課題を考えます。 「スクマネジメント」
ア ア 連携・協働 柔軟に対応するカップ プ			■「手引」及び「『教職研修 I 高 らダウンロードし、必要事項を	引、これからの10年間」教職教育部 所校』事前課題」をセンターHPか と記入して持参してください。
T	1-3-03-04 拿力充実研修 高校	7月7日(木)	を図ります。特に、発達障がいを 解を深め、具体的な支援や対応に 講義・演習 「長野県子どもを性 た予防の教育について」心の支援	通して、生徒指導力のさらなる充実 対える生徒や不登校の生徒への理 こついて学びます。 性被害から守るための条例に基づい 爰課指導主事 保健厚生課指導主事 る特別支援教育と不登校への支援
地域社会と 目標実現に向ける 連携・協働 柔軟に対応するカ			■持ち物 なし	所長 花輪 敏男
4	1-3-03-05 教職研修Ⅱ	8月29日(月)	方を理解して、今後の教育活動に 実践発表・演習 「探究型学習の 講義・演習 「学校教育に活かす 講師 PHP研究所公認と)実践について」 飯田風越高等学校担当教諭
地域社会と 目標実現に向ける 柔軟に対応する 3 4			■持ち物 なし	
	1-3-03-06 教職研修Ⅲ	1月17日(火)	教育法規について学ぶとともに 今後の課題や方向性を明らかにし 講義・演習 「教育法規と学校組 講師 帝京科学大学 講師 グループ協議 「キャリアアップ	1機マネジメント」1 山田 知代
地域社会と 連携・協働 柔軟に対応するプ			■レポート「校内研修報告書(原 された日までに記入して送付し	「案)」の様式を送付します。指定 してください。

キャ	リアアップ	研修Ⅱ 小学校·中学校·義務	務教育学校·特別支援学校 選択研修皿 高等学校	選択必修研修	
教科・領域	講座番号		講座名	実施日	掲載ページ
	3-1-01-21	高校国語科 基本	~新学習指導要領に基づく授業づくり~	6月 2日(木)	41
	3-1-01-22	小学校国語科 基本	~全国学力・学習状況調査から考える授業改善~	9月16日(金)	41
国語	3-1-01-24	古典 基本	~校種間の連携を大事にした古典指導~	9月30日(金)	41
нн	3-1-01-25	中学校国語科 基本	~全国学力・学習状況調査から考える授業改善~	11月11日(金)	41
	3-1-01-27	書写·書道 基本	~児童生徒が喜びを感じる書写・書道へ~	11月25日(金)	42
地社	3-1-02-21	社会科の基本 I	~遺跡発掘から深める教材研究~	6月17日(金)	42
歴会	3-1-02-22	社会科の基本Ⅱ	~県立歴史館の資料を活用した教材研究~	7月12日(火)	42
· ·	3-1-02-23	中学校·高校公民 基本	~主権者教育を意識した授業づくり~	9月15日(木)	42
民	3-1-02-41	小学校·中学校社会科 応用	~魅力ある単元を創造する~	11月18日(金)	43
	3-1-03-21	小学校算数 基本A	~授業づくり、はじめの一歩~	6月 2日(木)	43
	3-1-03-22	小学校算数 基本B	~授業づくり、はじめの一歩~	6月16日(木)	43
算 数	3-1-03-23	小学校算数 基本C	~授業づくり、はじめの一歩~	6月27日(月)	43
	3-1-03-24	小学校算数 基本 I	~資質・能力を育成する授業づくり~	8月10日(水)	43
数 学	3-1-03-26	小学校算数 基本Ⅱ	~全国学力・学習状況調査を生かした授業づくり~	9月26日(月)	44
,	3-1-03-28	中学校数学 基本 I	~魅力ある授業づくりと教材研究~	6月 3日(金)	44
	3-1-03-29	中学校数学 基本Ⅱ	~指導と評価の一体化を目指した授業づくり~	11月25日(金)	44

キャリ	リアアップ	研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学	单校•特別支援学校 選択研修Ⅲ 高等学校 遴	選択必修研修	
	講座番号		講座名	実施日	掲載ページ
算数	3-1-03-31	高校数学 基本	~統計的な探究プロセスとICT活用~	7月20日(水)	44
数・	3-1-03-32	中学校高校連携数学 基本 I	~評価問題を活用する授業づくり~	11月 7日(月)	44
数学	3-1-03-34	中学校高校連携数学 基本Ⅱ	~数学的活動の充実とその背景~	9月29日(木)	45
	3-1-04-21	小学校理科 基本	~各学年で取り組めるものづくり~	9月29日(木)	46
	3-1-04-22	高校理科 基本Ⅱ	~課題探究の指導法を学ぶ~	11月11日(金)	46
	3-1-04-23	高校理科 基本Ⅲ	~課題探究のまとめ方を学ぶ~	11月11日(金)	46
	3-1-04-24	高校理科実験 応用	~物化生地のつながりが見える実験~	10月 3日(月)	46
理科	3-1-04-41	小学校理科 応用	~理科の見方・考え方を働かせる授業~	9月12日(月)	46
17-7	3-1-04-42	中学校理科 応用 I	~調査官と学ぶ理科の授業づくり~	7月14日(木)	46
	3-1-04-44	中学校理科 応用Ⅱ	~生物・地学の授業づくり~	8月 5日(金)	46
	3-1-04-45	理科 中高接続 応用	~探究から中高接続を考える~	11月17日(木)	47
	3-1-04-56	高校理科 授業づくり	~生徒を主役にする授業改善~	9月30日(金)	47
外	3-1-05-21	小中連携英語 基本 I	~視学官と学ぶ指導と評価~	6月30日(木)	48
国	3-1-05-23	小中連携英語 基本Ⅱ	~小学校の授業から考える小中連携~	11月10日(木)	48
語活	3-1-05-24	中高連携英語 基本	~中学校から高校英語を考える~	7月15日(金)	48
動	3-1-05-25	中学校・高校英語 基本	~English Richな授業づくり~	7月22日(金)	49
英	3-1-05-41	高校英語 応用	~発信力を育てるための統合的な言語活動とは~	11月 4日(金)	49
語		中学校·高校英語 応用	~自己表現力を高めるための指導~	11月17日(木)	49
生		生活科 基本 I	~生活科の授業が目指すもの~	6月 9日(木)	49
活	3-1-06-22	生活科 基本Ⅱ	~子どもを見つめる教師のまなざし~	10月21日(金)	49
	3-1-07-21	小学校音楽, 家庭科 基本	~音楽. 家庭科の授業とICT~	8月25日(木)	49(52)
	3-1-07-22	小学校音楽 基本	~調査官と学ぶ指導と評価~	8月30日(火)	49
	3-1-07-24	中高音楽 基本 I	~調査官と学ぶ指導と評価~	6月28日(火)	50
音		中高音楽 基本 II	~音楽の授業とICT~	12月 2日(金)	50
楽		音楽 基本 I	~[共通事項]を要とした授業づくり~	10月25日(火)	50
		音楽 基本Ⅱ	~郷土の音楽・諸外国の音楽~	12月13日(火)	50
		音楽 応用 I	~子どもから音楽を引き出すドラムサークル~	7月14日(木)	50
		音楽 応用Ⅱ	~日本の伝統芸能を学ぶ~	11月15日(火)	50
		小学校図画工作 基本 I	~造形遊びをする活動における指導と評価の一体化~	6月10日(金)	50
		小学校図画工作 基本Ⅱ	~資質・能力を育成する授業づくり~	6月28日(火)	51
図画		中学校·高校美術 基本 I	~資質・能力を育成する授業づくり~	7月28日(木)	51
エ		中学校·高校美術 基本Ⅱ	~調査官と学ぶ指導と評価~	11月 1日(火)	51
作		図工・美術 基本 I	~鑑賞学習の教材研究~	9月 2日(金)	51
美		図工・美術 基本Ⅱ	~ICT活用の中学校・高校美術~	12月 2日(金)	51
術		図工·美術 基本Ⅲ	~ICT活用の小学校図画工作~	11月22日(火)	51
		図工・美術 応用	~陶芸の教材研究~	8月 8日(月) ~ 8月 9日(火)	51
		家庭科 基本 I	~消費生活・環境の授業づくり~	8月 9日(火)	52
		家庭科 基本Ⅱ	~ICTを活用した授業づくり~	11月 8日(火)	52
家		家庭科 基本皿	~ 教材と題材構想~	7月29日(金)	52
庭		家庭科 基本Ⅳ	~信州の食文化と食生活の授業づくり~	10月25日(火)	52
		小学校音楽, 家庭科 基本	~音楽、家庭科の授業とICT~	8月25日(木)	49(52)
\vdash		中学校技術 基本 [~ 花き試験場で学ぶ生物育成の技術~	6月 9日(木)	52
技		中学校技術 基本Ⅱ	~ 県産木材から材料と加工の技術を学ぶ~	8月 8日(月)	52
術		中学校技術 基本皿	~技術分野の資質・能力を育むエネルギー変換の技術~	10月21日(金)	53
		中学校技術 基本IV	~計測・制御と双方向コンテンツのプログラミング教材を体験する~	11月17日(木)	53
道		小学校・中学校道徳 基本	~考え、議論する道徳の授業づくり~	6月20日(月)	53
徳		小学校·中学校道徳 応用	~調査官と学ぶ指導と評価~	6月 3日(金)	53
特別活動		小·中·高 学級づくり 基本	~キャリア形成につなげる特別活動~	6月23日(木)	54
図書館		学校図書館の活性化を図る	~図書館を利活用した探究的な学びの創造~	6月17日(金)	54
教育 ・総		総合的な学習の時間 基本	~探究的な学習につながる授業づくり~	9月16日(金)	54
探合		総合的な学習・探究の時間 基本 I	~地元をフィールドにした学び~	10月31日(月)	75(54)
究的のな		総合的な学習·探究の時間 基本 II	~ 知力を活用して探究を深める~	11月24日(木)	54
時学 間習		総合的な探究の時間基本	~3年間を見据えた探究を考える~	8月 8日(月)	54
プログラ		松古的な採丸の時间 基本 小学校プログラミング教育 基本A	~各教科での実践を体験的に学ぶ~	6月23日(木)	54
ミング		小学校プログラミング教育 基本A ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	~ 谷教科での実践を体験的に学ぶ~ ~ 各教科での実践を体験的に学ぶ~	7月29日(金)	54
教育 幼児教育		小学校プログラミング教育 基本B 幼児教育 基本	~谷教付での美銭を体験的に字ふ~ ~幼児期の遊びと学び~	7月29日(金)	55 55
如兀狄目	0 1 ZU-ZI	がルが、一般で	物ル図の歴でのよう	/口口口(亚/	JJ

キャ	リアアップ	研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学	校•特別支援学校選択研修Ⅲ 高等学校:	選択必修研修	
教科·領域	講座番号		講座名	実施日	掲載ページ
	3-2-01-21	人権教育 基本 I	~共に創る人権教育~	10月 3日(月)	37
学	3-2-01-22		~地域の素材を生かした学びを考える~	9月 2日(金)	37
	3-2-01-41	学校人権教育ファシリテーター研修会		8月18日(木)	37
校力	3-2-05-41	性に関する指導研修会		8月 5日(金)	37
の		キャリア教育 基本		7月14日(木)	38
向 上		学校組織マネジメント 応用 I		7月11日(月)	38
		学校組織マネジメント 応用Ⅱ	~教育法規と学校運営~	12月 9日(金)	38
		カリキュラム・マネジメント 応用	NAME I NEL	6月 9日(木)	38
		情報モラル 基本 I	~授業で取り組む著作権教育~	6月30日(木)	63
		情報モラル 基本Ⅱ	~個人情報を守る情報セキュリティ~	12月 9日(金)	63
情		ICT活用 基本 I	~PowerPointで簡単!動画作成~	8月 8日(月)	63
報教		ICT活用 基本 II	~iPadで作成する授業動画~	10月 7日(金)	63
育		高校情報 基本	~高校 教科「情報」教育~	10月13日(木) ~ 10月14日(金)	63
		ICT活用 応用	~今、推進する校内のICT活用~	10月 6日(木)	63
		産業教育 基本 I	~未来を創造する人材育成~	7月14日(木)	66
		産業教育 基本Ⅱ 産業教育 基本Ⅱ	~探究の学びを推進する「課題研究」へ~	12月 8日(木)	66
		産業教育 応用	~ 採乳の子のを推進する「味趣研乳」へ~ ~ 研究成果を生かした授業改善を考える~	1月26日(木)	66
				7月28日(木)	
		農業 基本 I	~土壌微生物と持続可能な農業生産~ ~プログラミングとスマート農林業~	9月 2日(金)	66
		農業 基本Ⅱ			66
産		農業基本Ⅲ	~エネルギーと地域資源活用を考える~	11月 2日(水)	66
業教		工業基本Ⅰ	~ロボットを使ったプログラミング~	7月15日(金)	66
育		工業基本Ⅱ	~3Dデータの活用とものづくりを考える~	9月 1日(木)	66
		工業基本Ⅲ	~AI技術を使ったロボット制御~	11月11日(金)	66
		商業 基本 I	~問いづくりと学習評価~	6月17日(金)	67
		商業 基本Ⅱ	~「情報処理」の授業改善~	9月22日(木)	67
		商業 基本皿	~専門家から学び、授業を磨く~	11月14日(月)	67
		福祉 基本 I	~介護技術の指導法と実践~	8月22日(月)	67
		福祉基本Ⅱ	~教科「福祉」の教材研究と指導法~	1月19日(木)	67
		関係づくり 基本	~ 自尊感情を育むSlimpleプログラム~	7月22日(金)	57
		教育相談 基本	~学校で生かせる解決志向のアプローチ~ 	9月 5日(月)	57
生		関係づくり 応用	~学校カウンセリングで教師カアップ~	9月 2日(金)	57
徒		児童生徒理解と課題への対応 基本 I	~どう教える?ネット・スマホ指導~	8月 8日(月)	57
指導		児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ	~子どもに寄り添う理解と支援~	10月21日(金)	57
		児童生徒理解と課題への対応 基本皿	~不登校の子どもへの理解と支援~	10月13日(木)	57
		連携·危機対応 基本	~関係機関と連携したチーム支援を学ぶ~	11月11日(金)	57
		連携・危機対応 応用	~保護者対応の具体を学ぶ~	7月21日(木)	57
		スタート!特別支援教育 基本Ⅱ	~特別支援学校の基礎~	7月27日(水)	59
	3-6-03-21	クラスの中の気になる子の支援 基本 I	~小学校 通常の学級~	8月25日(木)	59
	3-6-03-22	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅱ	~中学校 通常の学級~	10月 7日(金)	59
特		特性の理解と支援 応用 I	~発達障がいや吃音のある子どもの理解と支援方法~	7月15日(金)	60
別 支		特性の理解と支援 応用Ⅱ	~読み書きのプロセスの理解と支援~	7月11日(月)	60
援		特性の理解と支援 応用Ⅲ	~認知特性に応じたコミュニケーション支援~	11月 8日(火)	60
教育		専門性の向上 基本Ⅱ	~事例から学ぶ応用行動分析~	10月21日(金)	60
"		特別支援教育の授業づくり 応用 I	~特別支援教育のキャリア教育と進路指導~	7月 4日(月)	60
		特別支援教育の授業づくり 応用Ⅱ	~対話的で深い学びにつなげる生活単元学習~	8月30日(火)	61
		特別支援教育の授業づくり 応用Ⅲ	~授業のユニバーサルデザイン化~	8月 8日(月)	61
		専門性の向上 応用	~特別支援教育における保護者との関係づくり~	9月 2日(金)	61
信		授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA		10月 6日(木)	71(39)
州大		授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB		10月 7日(金)	71(39)
学		教師の教育観と授業	~省察的実践を通した教師の更新~	6月 6日(月)	73(39)
連 携		学級づくり・学校づくり	~ チーム学校と新たな学級経営 ~	8月 1日(月)	73(39)
		へき地・小規模校の教育実践	~個別最適な学びを実現する授業づくり~	8月18日(木)	73(39)
教上 職越	3-8-01-01	効果的な集団づくり	~これからの学級・学年経営~	6月16日(木)	74(39)
大教		ICTを活用した授業づくり	~教科学習における効果的なICT活用~	7月28日(木)	74(55)
学育 院大	3-8-01-03	特別の教科 道徳	~道徳科授業づくりの理論と実践~	8月30日(火)	74(53)
連学	3-8-01-04	深い学びが生起する国語科授業	~言葉による見方・考え方を働かせるには~	9月16日(金)	74(42)
携	3-8-01-05	小中学校における特別支援教育	~多様な児童生徒の実態把握と指導・支援~	9月22日(木)	74(61)
פענ	0 0 01 00	コーナルにのいたの可が大阪が日	ァルタルチェルベスぶに近くは守、人族。	2/125 H (VIV)	